



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月22日

上場会社名 安川情報システム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2354 URL <http://www.ysknet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 喜文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理担当部長 (氏名) 原 英明

TEL 093-622-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年3月21日～平成25年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,888	1.0	△134	—	△130	—	△106	—
25年3月期第3四半期	8,801	12.1	△153	—	△97	—	△85	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 △101百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△5.91	—	—
25年3月期第3四半期	△4.74	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8,258	—	3,016	—	36.4	166.93	—
25年3月期	8,907	—	3,118	—	34.9	172.49	—

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 3,004百万円 25年3月期 3,104百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	5.0	120	36.6	120	△25.0	60	△35.1	3.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,000,000 株	25年3月期	18,000,000 株
26年3月期3Q	304 株	25年3月期	304 株
26年3月期3Q	17,999,696 株	25年3月期3Q	17,999,696 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 平成26年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場動向の影響もあり輸出は持ち直しつつあり、企業収益が改善する中で、生産や設備投資も緩やかに増加してきております。

当社グループの属する情報サービス業界では、スマートフォンやタブレット端末の需要も高く、通信分野向けのソフトウェア開発等は高水準を維持しております。また、主に金融業や製造業におけるシステム刷新等のIT関連投資も緩やかな回復基調にあり、需要環境は改善しておりますが、受注獲得競争は依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは2013年度から2015年度までの中期経営計画「Renaissance21（ルネッサンス21）」を策定し、そのスタートの年として事業構造改革に基づく戦略事業の強力な推進とコスト構造改革の仕上げにより事業基盤を固め、成長プランが確実なものとなるように努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は88億88百万円（対前年同四半期比1.0%増）となりましたが、大型案件のコストの大幅な悪化により営業損失1億34百万円、経常損失1億30百万円、四半期純損失1億6百万円となりました。

## ② 事業別の状況

当社グループは、第1四半期連結会計期間から、従来の「プロダクト事業」のうち、情報通信機器の提供を「組込制御ソリューション事業」に、インターネット・セキュリティ関連製品の提供を「医療・公益ソリューション事業」に各々統合し、「ビジネス・ソリューション事業」、「組込制御ソリューション事業」、「医療・公益ソリューション事業」の3事業に再編し、事業区分を変更しました。

具体的には、以下のとおりですが、前年同四半期との比較に関する事項は、前年同四半期の数値を変更後の事業部門に組み替えて比較しております。

## 〔ビジネス・ソリューション事業〕

当事業では、移動体通信事業者向けシステム構築は低調であり、企業向けシステム基盤構築においても案件一巡等により減少しました。しかしながら、株式会社安川電機グループや非製造業向けシステム開発案件の継続的な売上もあり、自動車製造業向けのシステム構築も前年同期に比べ増加しました。その結果、売上高は33億51百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

## 〔組込制御ソリューション事業〕

当事業では、倉庫物流システムは低調でしたが、設備投資の持ち直しを背景にメカトロ機器向け組込ソフトは改善しました。また、医療機器向け組込ソフトは堅調に推移し、M2M（Machine to Machine）分野向けのシステム構築や情報機器販売が大幅に増加しました。その結果、売上高は38億65百万円（同18.1%増）となりました。

## 〔医療・公益ソリューション事業〕

当事業では、健康保険者向けの大規模システム構築の新規売上もあり、医療機関向けソリューションサービスも堅調に推移しました。しかしながら、自治体向け情報通信基盤構築は案件一巡により大幅に減少し、インターネット・セキュリティ関連製品の売上も前年同期に比べ減少しました。その結果、売上高は16億70百万円（同23.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は52億61百万円（前連結会計年度末比4億74百万円減）となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が14億99百万円減少したこと、仕掛品が8億64百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は29億96百万円（同1億75百万円減）となりました。これは、主として前払年金費用の減少等により投資その他の資産が1億31百万円減少したこと等によるものです。

この結果、資産合計は82億58百万円（同6億49百万円減）となりました。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は23億95百万円（同4億87百万円減）となりました。これは、主として未払費用が2億41百万円減少したこと、未払金が1億91百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は28億46百万円（同61百万円減）となりました。これは、主として長期未払金の減少等によりその他が1億55百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は52億41百万円（同5億48百万円減）となりました。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は30億16百万円（同1億1百万円減）となりました。これは、主として利益剰余金が1億6百万円減少したこと等によるものです。

## ④ キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より71百万円増加し、16億15百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加9億11百万円、未払費用の減少2億41百万円があったものの、売上債権の減少14億99百万円があったこと等により、99百万円（前年同四半期比3億30百万円減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得23百万円等により、△26百万円（同20百万円増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、ファイナンス・リース債務の返済1百万円等により、△1百万円（同0百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年10月15日の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,543,535	1,615,339
受取手形及び売掛金	2,928,125	1,428,955
商品及び製品	40,139	87,805
仕掛品	622,485	1,486,920
原材料及び貯蔵品	11,541	11,092
その他	590,970	632,579
貸倒引当金	△1,084	△1,194
流動資産合計	5,735,712	5,261,499
固定資産		
有形固定資産	694,121	676,390
無形固定資産	141,621	114,910
投資その他の資産		
前払年金費用	1,674,042	1,544,823
その他	662,395	660,401
投資その他の資産合計	2,336,438	2,205,224
固定資産合計	3,172,180	2,996,525
資産合計	8,907,893	8,258,024
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	361,342	403,549
未払金	1,018,510	827,400
未払費用	1,019,288	777,556
未払法人税等	136,902	2,045
役員賞与引当金	700	375
その他	345,863	384,318
流動負債合計	2,882,608	2,395,245
固定負債		
退職給付引当金	2,265,103	2,354,756
役員退職慰労引当金	22,454	26,954
その他	619,655	464,356
固定負債合計	2,907,212	2,846,067
負債合計	5,789,821	5,241,312
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	664,000	664,000
資本剰余金	318,000	318,000
利益剰余金	2,091,522	1,985,172
自己株式	△99	△99
株主資本合計	3,073,423	2,967,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,321	37,586
その他の包括利益累計額合計	31,321	37,586
少数株主持分	13,327	12,052
純資産合計	3,118,072	3,016,712
負債純資産合計	8,907,893	8,258,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
売上高	8,801,117	8,888,748
売上原価	7,340,590	7,349,192
売上総利益	1,460,526	1,539,555
販売費及び一般管理費	1,613,628	1,674,523
営業損失(△)	△153,101	△134,967
営業外収益		
受取利息	203	205
受取配当金	1,494	1,015
雇用助成金・奨励金	55,381	5,792
その他	1,387	1,086
営業外収益合計	58,466	8,099
営業外費用		
支払利息	177	188
売上債権売却損	1,907	2,021
売上割引	874	1,098
その他	3	180
営業外費用合計	2,962	3,488
経常損失(△)	△97,596	△130,356
特別利益		
退職給付制度改定益	26,902	—
特別利益合計	26,902	—
特別損失		
固定資産除却損	2,918	3,539
投資有価証券評価損	3,223	—
特別損失合計	6,141	3,539
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,835	△133,895
法人税、住民税及び事業税	2,018	1,112
法人税等調整額	8,198	△27,729
法人税等合計	10,216	△26,616
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,052	△107,279
少数株主損失(△)	△1,813	△929
四半期純損失(△)	△85,238	△106,349

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△87,052	△107,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,641	6,279
その他の包括利益合計	5,641	6,279
四半期包括利益	△81,410	△101,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,614	△100,084
少数株主に係る四半期包括利益	△1,795	△915

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,835	△133,895
減価償却費	91,216	86,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,302	109
前払年金費用の増減額(△は増加)	△616,938	129,219
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	50	△325
退職給付引当金の増減額(△は減少)	101,067	89,653
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△49,950	4,500
受取利息及び受取配当金	△1,698	△1,220
支払利息	177	188
固定資産除却損	2,918	3,539
投資有価証券評価損益(△は益)	3,223	—
売上債権の増減額(△は増加)	972,310	1,499,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	△396,288	△911,652
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,613	42,206
未払金の増減額(△は減少)	261,689	△193,586
未払費用の増減額(△は減少)	△458,565	△241,732
長期未払金の増減額(△は減少)	546,255	△177,240
その他	89,863	90,481
小計	447,578	286,160
利息及び配当金の受取額	1,697	1,220
利息の支払額	△177	△188
法人税等の支払額	△21,414	△188,250
法人税等の還付額	2,685	884
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,369	99,826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,676	△20,341
無形固定資産の取得による支出	△30,844	△23,026
投資有価証券の取得による支出	△64	△75
その他	9,399	16,851
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,185	△26,591
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,071	△1,071
配当金の支払額	△10	—
少数株主への配当金の支払額	△360	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,441	△1,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	381,742	71,804
現金及び現金同等物の期首残高	1,599,029	1,543,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,980,772	1,615,339

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。